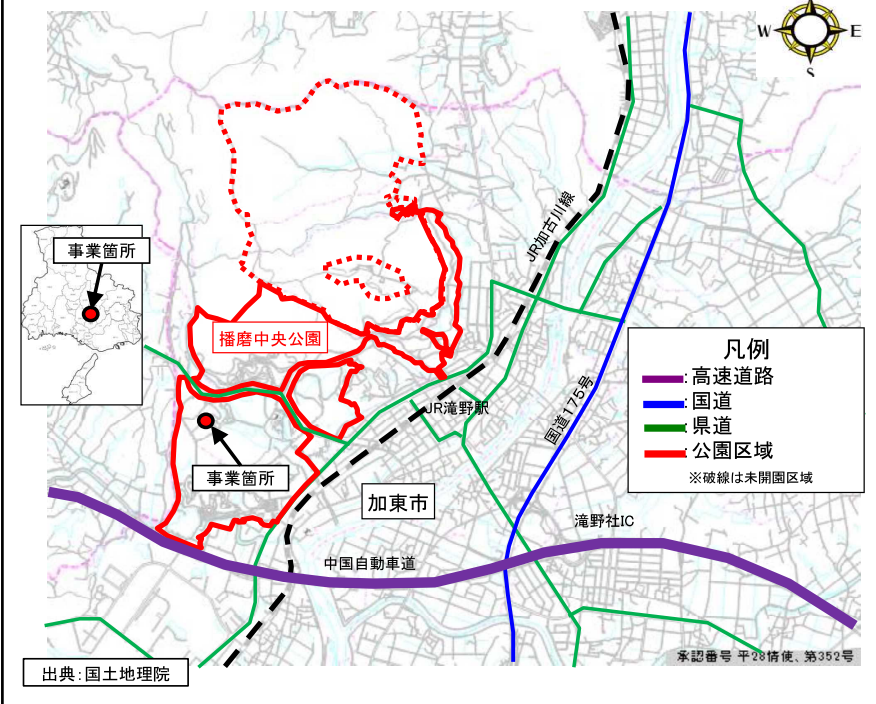


# 都市公園事業 播磨中央公園 野外ステージ跡地整備 (パークマネジメント導入型)

## 位置図



## 目的

スケートボードやBMX、MTB等、若者に人気の都市型スポーツを1箇所で楽しめる日本一の施設を整備し、北播磨地域への若者の呼び込みやスポーツ移住なども目指した地域振興に貢献する。

## 事業概要

事業区域：野外ステージ撤去跡地及び周辺  
 総事業費：6.4億円  
 内地補償費：－  
 事業期間：令和3年度～令和6年度  
 事業概要：競技コース、ステージ、クラブハウス整備  
 面積：5.45ha  
 費用便益比B/C：3.2  
 ※パークマネジメントを導入

## 工程表

工種	年度			
	R3	R4	R5	R6
調査・設計	■			
Park-PFI公募		■ 公募準備・公募		
施設工事				■

## 事業の必要性・優先性

- 「県立都市公園の整備・管理運営基本計画(平成28年度)」では、当公園を「北播磨地域のスポーツ・レクリエーションの核」と位置付けている。当事業は既に整備されているサイクルステーションや北播磨サイクリングルート等に加え、アーバンスポーツによる北播磨地域の活性化に資するものとして早期整備が必要。
- 広場を使ったBMXやスケートボード等は、都市部では禁止されている公園が多い。このため、世界大会開催可能で規模・施設内容とも日本一の当施設には、スケートボード13千人、BMX10千人、MTB4千人、インライン3千人などの年間計3～10万人の利用者が見込まれる。
- 当施設では、平日利用の無料化の検討などにより、サーフィンやモーグル[スキー]等での事例のように、日々の良好な練習施設を求める若者の移住による地域活性化も見込まれる。
- コロナ禍による屋外スポーツ人気で、MTBの販売数が1.3倍(R2/R元比)のペースで増加する等、利用者ニーズが高まっている。
- 令和6年度の施設開設時にスケードボードやBMXの全日本大会、令和7年度に世界大会等を誘致。その後も定期的に大会を開催し、スポーツイベントによる地域のにぎわいづくりに貢献する。

## 現況写真

① 野外ステージ(スケートボード、BMXフリースタイル等予定地)



② 芝生+樹林地(MTB初心者コース予定地)



③ 樹林地(MTBコース予定地)



## 平面図

